

研究に関する情報公開

<人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針>に基づき、研究の実施について情報を公開します。

★本研究に関するご質問等がありましたら下記の<お問い合わせ窓口>までご連絡ください。

★ご希望があれば、他の研究対象者※の方の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧いただくことができます。

★試料・情報が当該研究に用いられることについて、研究対象者若しくは研究対象者の代理人の方にご了承いただけない場合には試料・情報を使用いたしませんので、その際は下記の<お問い合わせ窓口>までご連絡ください。その場合でも、研究対象者の方に不利益が生じることはありません。

<p><研究課題名> 環境ばく露と肺微小構造変化の関連性に関する研究</p>
<p><研究機関・研究責任者名> 日本大学医学部内科学系呼吸器内科学分野（附属板橋病院呼吸器内科）・教授（部長）権 寧博</p>
<p><研究期間> 機関の長の初回許可日 ～ 令和 12（西暦 2030）年 10月 31日</p>
<p><対象となる方> 2023年11月1日～2025年10月31日の期間に当院で肺の手術をされた方</p>
<p><研究の目的> 外科的切除により得られた肺組織（例：肺がん手術後の標本）を対象とします。切除された肺に取り込まれている環境物質を測定し、環境ばく露が肺に取り込まれているか・どのような影響を与えているか調べます。</p>
<p><研究の方法> 肺組織の一部を抽出して、含有されている化学物質があるか調べます。また、カルテから生活歴と画像検査（X線検査やCT検査など）、血液検査、生理検査（肺機能検査など）の情報と照合します。 本研究で得られた匿名化データおよび術後に処理された肺組織の一部は、環境由来微小物質の分析を専門とする以下の研究機関で解析を依頼する場合があります。 ※これらの機関では、提供された匿名化データ・検体を、本研究目的の範囲内でのみ使用し、第三者への提供は行いません。</p>
<p><研究に用いる試料・情報の項目> 切除した肺の一部、検査データ、診療記録を利用します。手術後に処理された肺組織の一部分を用います。検査データや診療記録は電子カルテから収集します。同意が得られない場合はご連絡いただければ、データを使用しないよう処理いたします。解析終了・公表後の除外については、統計的・実務的に困難な場合があります。</p>
<p><外部への試料・情報の提供の方法> 術後肺の組織や個別の情報について、個人がわからないように匿名化、データについては匿名化してかつロックをかけて厳重な梱包の下で送付します。</p>
<p><試料・情報の提供を開始する予定日と、提供を行う機関およびその長の氏名> 提供開始予定日：機関の長の初回許可日～ 研究終了まで 日本大学 生物資源科学部環境学科（学部長）関 泰一郎 京都府立医科大学 細胞分子機能病理（学長）夜久 均 日本大学 理工学部建築学科（学部長）轟 朝幸</p>

日本大学 理工学部電気工学科（学部長）轟 朝幸

＜研究を実施する機関組織＞

日本大学医学部内科学系呼吸器内科学分野 権 寧博

＜お問い合わせ窓口＞

日本大学医学部（東京都板橋区大谷口上町 30-1）

内科学系呼吸器内科学分野 権 寧博

電話 03-3972-8111 内線：（医局）2401

※研究対象者とは、以下に該当する方（死者を含む。）を指します。

①研究を実施される方

②研究に用いられることとなる既存試料・情報を取得された方